

## 2017 春季生活闘争 3.4 佐賀県中央総決起集会 アピール

われわれは本集会において、中小企業で働く仲間や非正規雇用の仲間をはじめ、すべての働く者の処遇を「底上げ」する決意を改めて確認した。あわせて、賃金・労働諸条件の改善はもとより、社会全体の課題についてわれわれ自身の役割を認識・共有して取り組んでいく決意も確認した。

現在、それぞれの労働組合が、月例賃金、とりわけ賃上げ額のみならず賃金水準にこだわって、精力的に交渉を進めている。「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「ディーセント・ワークの実現」のために、賃上げを継続しなければならない。特に、日本経済の屋台骨である中小企業で働く仲間の処遇改善がなければ、日本経済の成長はおぼつかない。そのためにも、「公正取引の推進」と「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」を求める取り組みを進める。加えて、非正規労働者の雇用の安定と処遇の改善が、企業の存続と競争力強化には欠かせない。

われわれは要求趣旨に沿った回答を引き出すことに全力を挙げ、その成果を社会的に波及させていく。

さらに、働く者の「総合生活改善」のためには、蔓延する雇用不安と将来不安を払拭し、働く者・生活者の立場からの政策実現に全力で取り組む必要がある。そのために、春季生活闘争の「運動の両輪」である「政策・制度実現の取り組み」を強力に推進し、連合として早急に解決すべき重要課題に取り組み、「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざし、組織の総力をあげた運動を展開する。

また、超少子高齢化・人口減少社会の中、日本経済・社会の持続的な発展をめざすためには、その担い手である労働者一人ひとりが心身ともに充実した状態で意欲と能力を十分に発揮できる環境を整備していく必要がある。「長時間労働の撲滅」はまさにその環境整備に不可欠なものであり、労働者一人ひとりの自己実現、ハッピーライフの実現に向けて、社会へ強く発信していこう。

2017 春季生活闘争は最初のヤマ場を迎える。労使は社会的責任を果たすため、いよいよ答えを出す時である。すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」を実現し、「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「ディーセント・ワークの実現」をはかるため、総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘おう！

2017年3月4日

連合佐賀「2017 春季生活闘争 3.4 佐賀県中央総決起集会」